

昭和28年度記録

本年新規、算用部書の留任、東京監査の留任、轉念新主牌、内閣副主牌、議見之次、三枚記録、集成ナスナの記録の元
15. 駆逐動行始第3。

3月中の練習

1月2日(月)、3日(火)、4日(水)、5日(木)、6日(金)、7日(土)、8日(日)
13日(金)、16日(月)、20日(金)、23日(月)、24日(火)、25日(水)、26日(木)
27日(金)、30日(月)、31日(火)、1月2日(水)、6時半より6時迄 天理兵12練
等。

4月中の練習

1月3日(火)、2月(火)、3月(金)、定期練習。

6日(火)、17日(火)、8月(水)、9日(木)、10日(金)、4時半より天理
兵12乙、強化練習。

13日(月)、15日(水)、17日(金)、20日(月)、22日(水)、24日(金) 27日(月)
29日(水)、定期練習、午時より天理兵12乙。

5月中の練習

1月(金)、4月(月)、5月(火)、7日(木)、8日(金)、11日(月)、
13日(火)、15日(木)、16日(火)、20日(水)、22日(金) 25日(月)、27日(水)、
29日(金)、定期練習、午時より天理兵12乙。

6月9日

八一三→一二部、初八合年慶練会正、三四教會12(49)。
(部則作成の件。)
6月10日。

第一回、早慶定期戰評、午後一時半。國民練習館口開鑿工
地。導護役左側的強手正見也。14—1 及二小已被。此試合
の馬上、三枝石の努力は負所を失う。

戰績詳細(1) 賽之通)

慶應義塾大學(14年)。11 年前庭園大賽。

(後)

吉原(馬)	圓石田	朝倉金作	丸藤田	横三見枝
15/15	15/15	15/15	15/15	15/15
1/1	1/1	1/1	1/1	1/1
3/10	3/3	1/10	3/4	1/15
~	~	~	~	~
藤菊不地	川中口西	深山野峰	吉生田北	河原舍次

(第2)

圓	吉原(馬)	在山、朝倉金作	丸藤田	相田村
15/11/15	15/15	15/5	15/15	15/15
1/1	1/1	1/1	1/1	1/1
1/15/10	6/6	2/4	8/5	11/8
~	~	~	~	~
角地	11	藤山野峰	吉生田北	河原舍次

地

12.

木

不

崎

野

谷

河

試合終了後、記念撮影、記念品贈呈等、賀合下、集喫
茶座12、交説、葛籠復取、早慶田校歌の齊唱の後、解散。

5月22日。

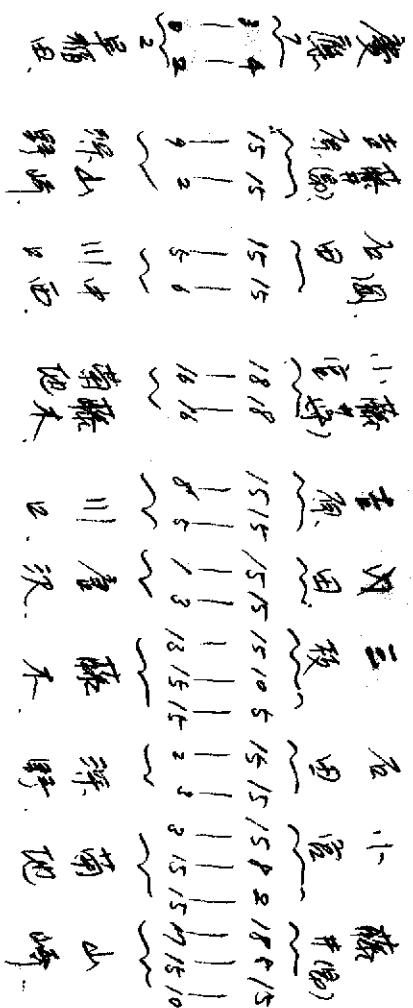
水上運動会、田径部の開水泳、体育会列形、T・V.W.T.P.

11. 當部判一隻生傷(左爪)、半死(右數)。

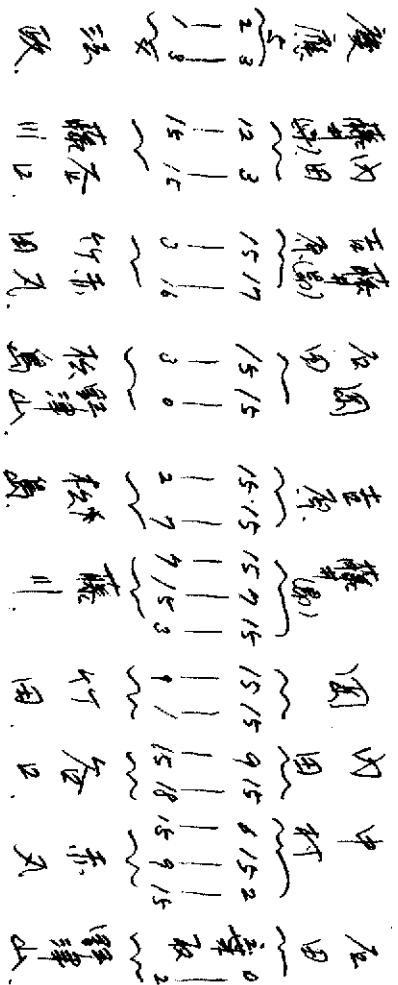
5月23日. 8月6月21日.

本年度 声帶11-12歲時、神田國民体育館12月10日3次、塾
外昇幅用12.7-2、級段12.5-4、班級12.5-4 開學日晚
12.6-2、及12.7戰全勝し、最終性、級段12.9-0、班級12.5-2。
明治大學12.8-1、昇幅用12.9-10 及12.9戰全勝し後立教大學
と優勝をかげて已畢、12月12.5-2 及此後(即ち12.7優勝
飞逝化した。成績詳細次の通り)。

5月23日. 於昇幅用大集



5月31日. 对决取下榜



此の結果、立候大将の初優勝なり。順位は次の通り。

- | | |
|------------|-------|
| 優勝、立候大將。 | 与戦全勝。 |
| 2位、優勝兼殿大將。 | 四勝一敗。 |
| 3位、明治大將。 | 三勝一敗。 |
| 4位、佐政大將。 | 二勝三敗。 |
| 5位、開原萬代大將。 | 一勝四敗。 |
| 6位、平野田大將。 | 与戦全敗。 |

6月甲子の練習。

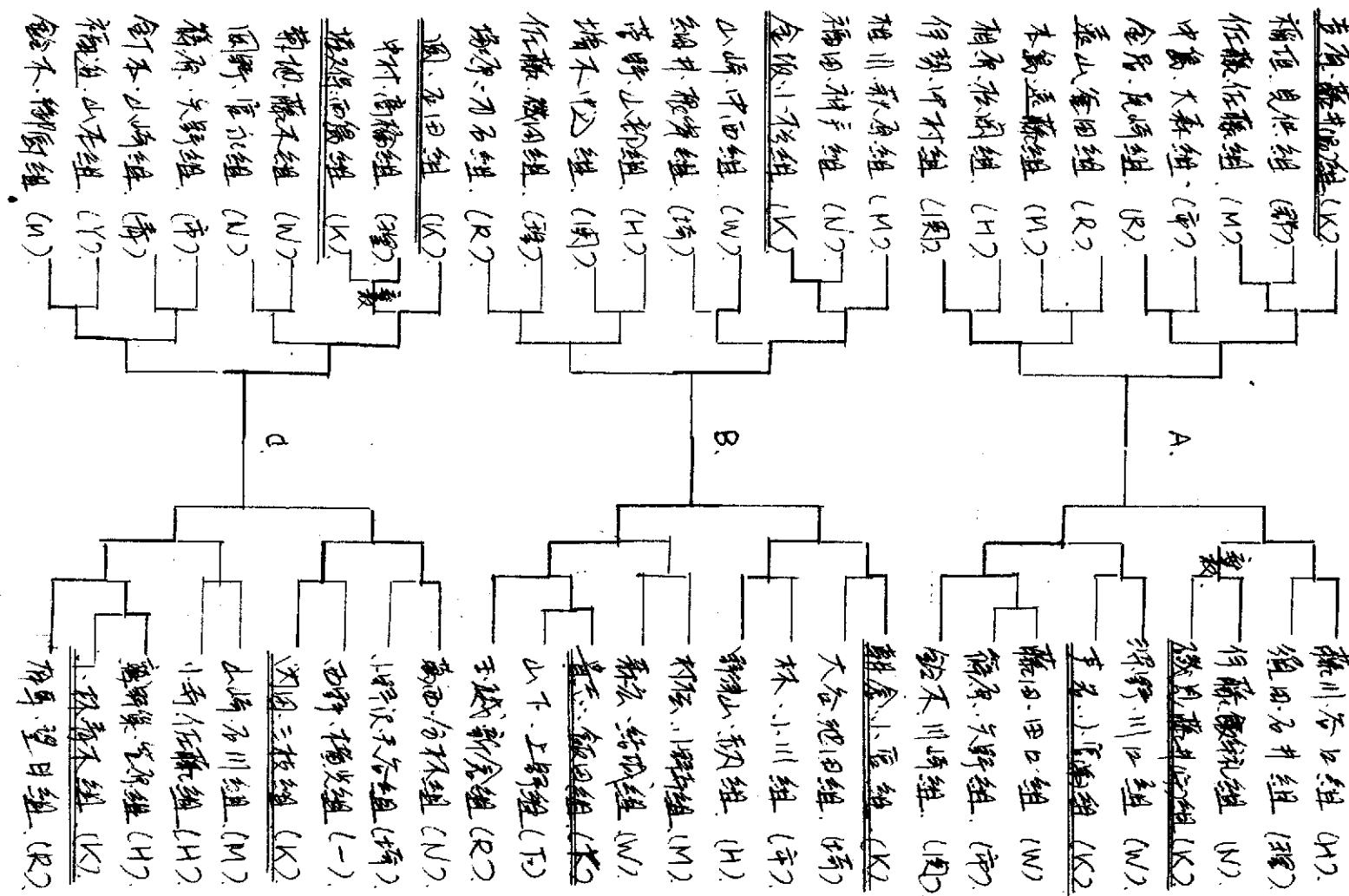
1日(火)、4日(水)、3日(木)、5日(金)、8日(月)、9日(火)、10日(水)
12日(金)、15日(月)、16日(火)、17日(水)、19日(金)、22日(月)、23日(火)
24日(水)、29日(月)練習を天祖神社乙行す。

6月26日、27日、28日

神奈川体育館、国民体育館、芦ヶ丘大井市等分移、高崎、横浜
に計11回、開原萬代選手取手用候也。此、豈止り良辰の選手本
番加し。(其の一等金也)。帰後、吉原優勝、三位2回、横
山、立候、開原萬代優勝。又位12回、石田組を入る后、二回目、數
日前終了した11ヶ月前より優勝記録を立て、即ち一同の雪辱の
意氣12度2回、此の所成績を得て丸で12回と云ふ。

記録詳細(次回の通り)。

6月26日(水)、神奈川体育館12回。



諸江倉田組 (M).

竹田林鳥組 (M).

赤川・鶴糞組 (K).

里・桶組 (K).

僚派・藤田組 (M).

河合・倉次組 (M).

白木・青田組 (R).

新村・松島組 (R).

佐藤・劉彌組 (M).

喜用・一色組 (N).

野分・吉本組 (N).

芦矢・林組 (N).

甲武・小倉組 (T).

竹谷・大村組 (N).

伊田川上組 (Y).

佐藤・山岸組 (R).

津味勝次隊.

三位次選.

A. 東多・藤井組 (K).

三越・新倉組 (K).

B. 玄藏・新倉組 (R).

佐藤・山岸組 (R).

C. 國・加隈組 (K).

佐藤・山岸組 (R).

D. 佐藤・山岸組 (R).

佐藤・山岸組 (R).

6月21日.

福岡・小井原: 駒江 壮吉(聲)水: 国民体育館、竹早・小井原: 仁乃:

11.2. 男子(聲) 体術部会場.

1.11 (Y2).

1.林 (一). 斉藤(成)

藤江 (M).

久留 (WT) 1日 (一)

飯野 (M).

芦添 (清) 舌村(成)

佐藤 (K).

甲斐 (清) 青木 (一)

井澤 (成)

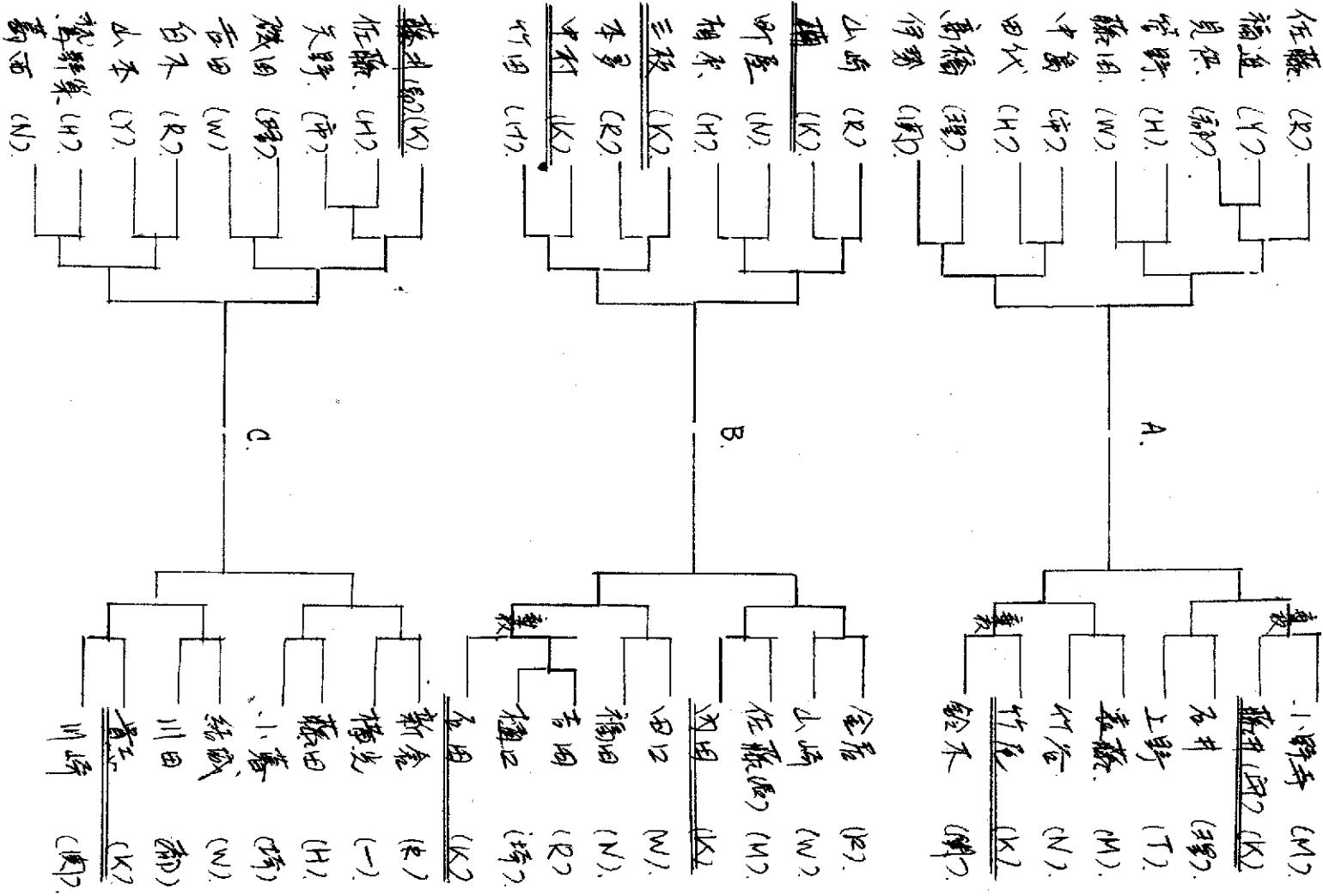
沼田 (清) 高橋 (和)

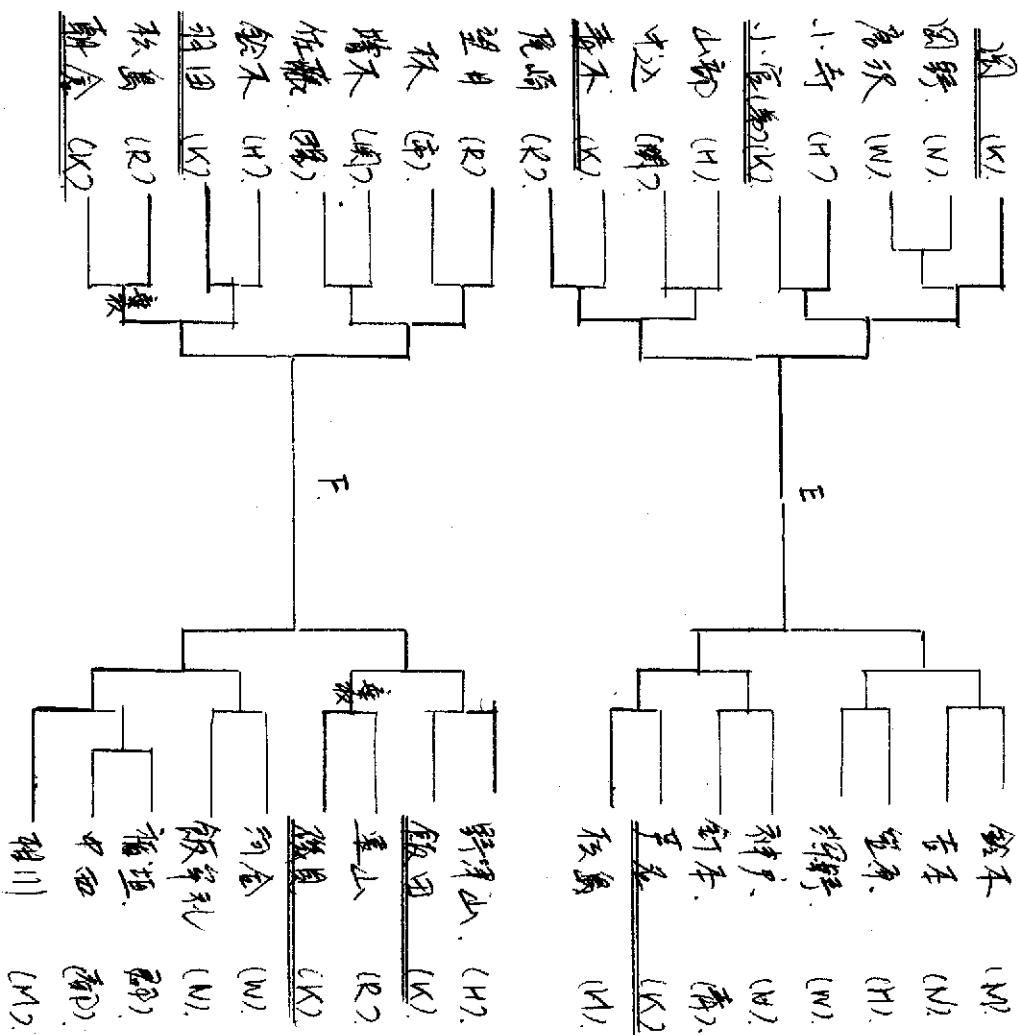
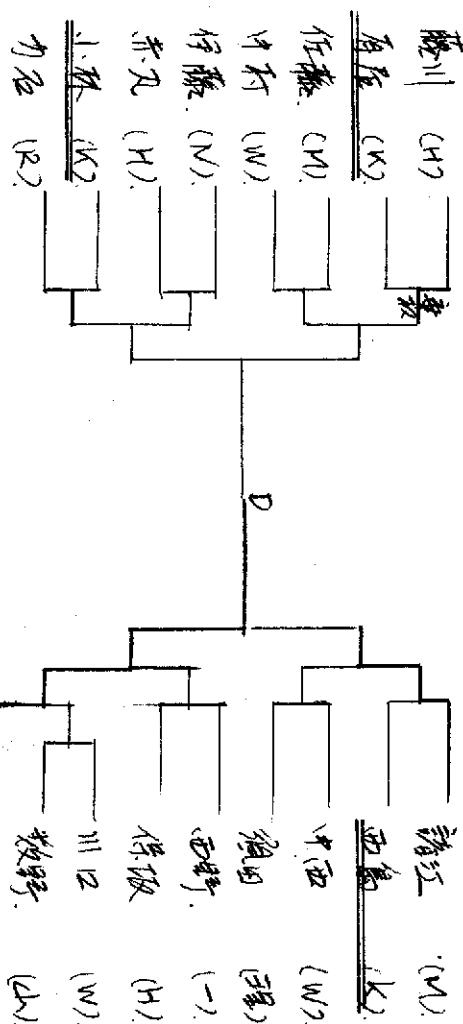
波勝 (Y).

山内 (W) 林下 (W) 小野 (清)

1.野寺 (清).

斎藤 (W)





苦馬 (K)

竹本 (W)

小倉 (W)

山崎 (W)

麻木 (W)

銀野 (K)

野村 (R)

古畑 (R)

菊池 (W)

萩原 (W)

森谷 (W)

高山 (W)

芦野 (W)

分林 (W)

蝶野 (W)

小倉 (W)

(W)

H

糸田 (M)

秋園 (M)

里 (K)

佐藤 (M)

御厨 (M)

富永 (N)

坂口 (K)

坂原 (R)

猪野 (K)

柳井 (M)

中村 (T)

山下 (T)

有松 (M)

能登 (W)

一色 (W)

猪川 (R)

三越 (R)

三住家屋

佐藤 (R)

山崎 (R)

高木 (K)

杉田 (W)

玉 (W)

G. 玉井 (W)

H. 小原 (K)

津口家勝、津波家勝、波勝

藤井 (K)

圓 (K)

7月中の練習。

1日(火)、3日(木)、6日(日)、8日(火)、10日(金)、13日(月)、15日(水)。

17日(金) 広島市総合運動場にて行う。
夏季休暇の爲、以後練習中止。

7月

四国事務所にて 今月本統合運行取扱い。

8月18日(金)合宿の実習練習(3:30~7:30)を行つ。

8月18日(金)出走。

夜 仙台にて合宿の集会。上野、常磐練習、一ノ江集会。
合宿所、二ノ江千葉。
練習所、東北大津体育館(2-1-6番)。

参加者名

四年 駒込、内田、三枝、篠見、鬼武
三年 國、小宮山、羽田、萬山、西島、原木、平井
二年 吉原、中村、青木
一年 不田、小室(鶴)、鶴、貴志、國本、鈴木、金城、金城田、
城野、吉田、藤井、佐久、小西、神足、松井
合宿費 3500円程度

日課(次の通り)

午前7時、起床。一年生番一二号は朝食、7時半、銀光八九
(仙台市中庄通)、東北大津体育館入。直江練習用船。
此度、当部の運行体制(練習用船)。後方→7:10周、馬頭、5周。
丸折用船、後方→一年生直江。正午着食、1時間休憩後、
練習開始。5時迄直江練習。5時半、又曾新郎(2年)が帰途。
6時夕食、7時半(10時迄自由時間)。但し、翌早朝(7:30)仙台市中
12時(事務)、10時半就寝。

尚、合宿中、19日~21日 兵庫先生(3年)、23日~24日
新潟監督(2年)の代行。新潟12:30(1)、横浜学院高校生(4)

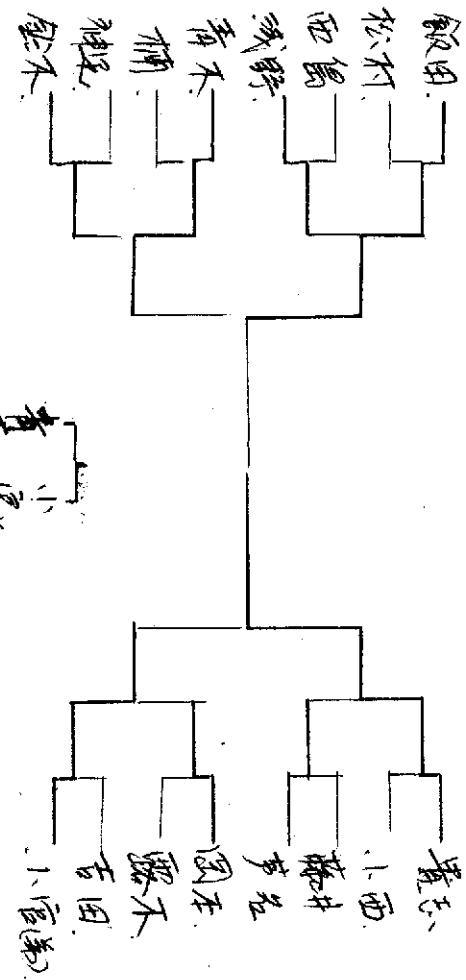
卷之二

此乃金相冲，一年即清。或耕、或耘田，其欲施化在事，甚有遺憾。
仁惠行，又仙台三同会，東北大溝心卜三一卦，即仁多大
援助，飞腾于半空，飞腾斯行了。

合宿中種々の行幸を行ひて、次の通りである。

8月23日。東北六三二一七號之支票誤記為173。二千零
肆元。將以 記錄不明。

8月26日、合宿最終日。紅白試合。新人トチードウモリ。紅白試合丁寧勝ち着く。記録不明。新人トチードウモリ。



红军、新军、吉原、高山、甲子、饭田、白原、医、小宝、羽田、三枝、黄元

九月廿九

14日(月). 16日(水). 18日(金). 21日(月). 23日(水). 25日(金)?

28日(月)30日(水)運動練習。

10月中の練習.

2日(金). 5日(月). 7日(水). 9日(金). 11(月). 14日(水). 16日(金).
19日(月). 21日(水). 23日(金). 24日(土). 30日(金)の定期練習.

10月18日(日).

陸上運動会. 仁新村統. 駒馬11レ - 仁坂場4位乙在出.
雨の為途中了了止。総合成績113点27位乙在出.

10月28日(火).

12周年 三国連盟12年紀念.

1. 部制改廃ノ件
1. 質問改年度収支決算報告.
1. 行事行進.
1. 其他.

11月中の練習.

2月(月). 4日(水). 6日(金). 9日(月). 13日(金). 18日(水).

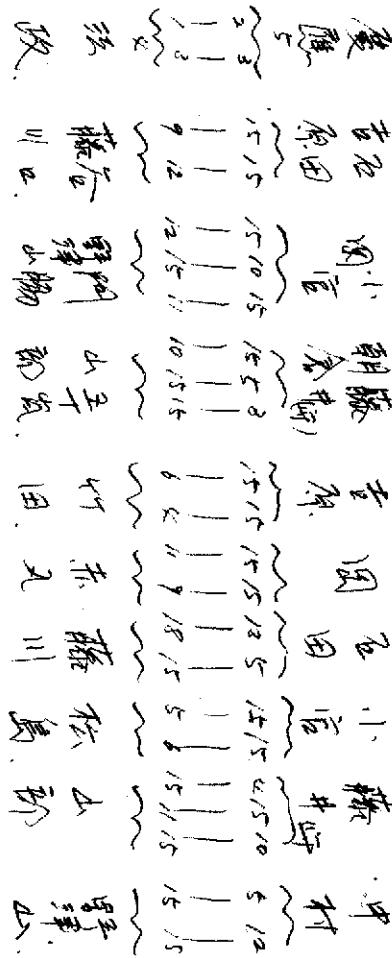
20日(金). 23日(月). 25日(水). 27日(金). 30日(月) 天理市12乙.
定期練習行つ。

11月1日(月) 11月14日(火)

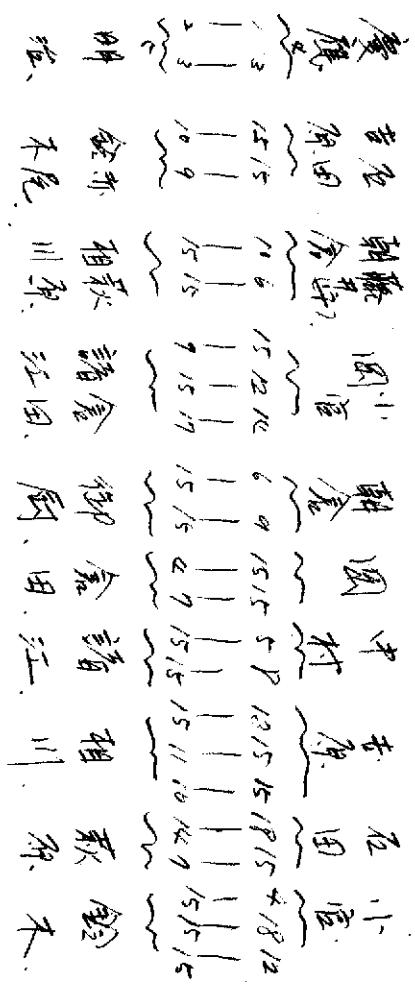
理大体育馆. 12尺体育馆. 2. 楽器11 - 7樂器用備3件.
本. 1 - 7. 1: 五. 11. 2. 藤井昂一の疾病. 1 - 3休業中病. 総
教15 - 4. 備前田五太11 - 7 - 2 之勝. >佐木. 明治125 - 4.
関東学院125 - 4 之敗北. 便12立教116 - 3 之敗北3回敗
北. 当都制立以来の四役と云々不戦績12終. 記載12次.

通)。

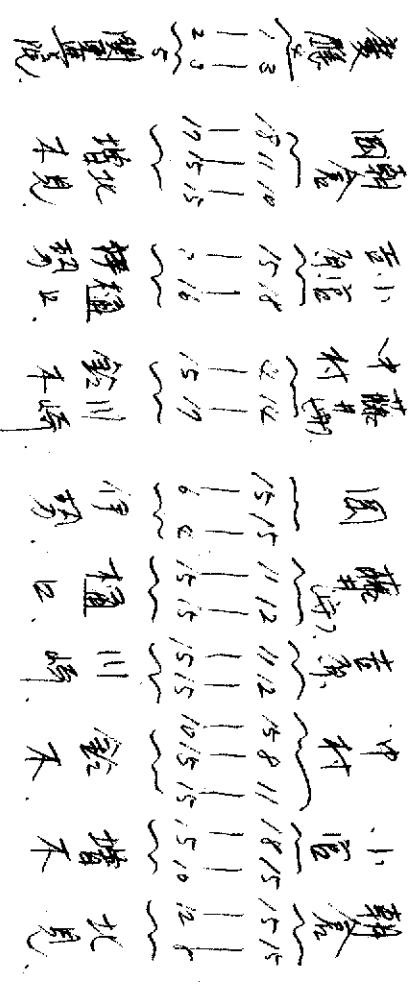
11月1日 (日) 訪法政大學。



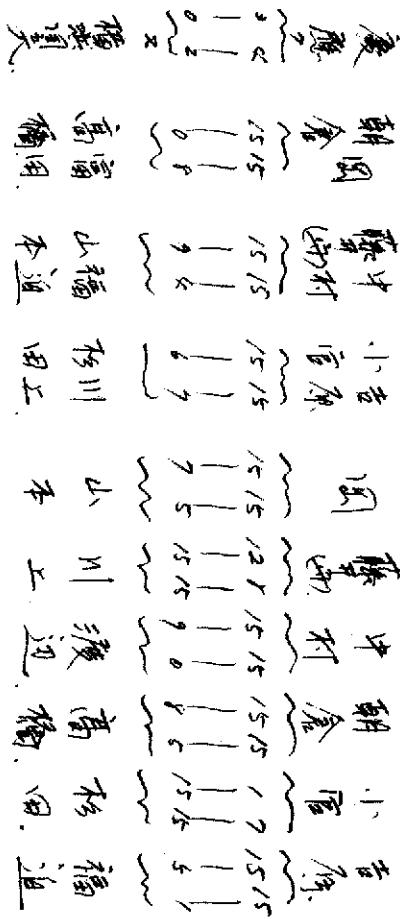
11月3日 (火) 訪慶應。



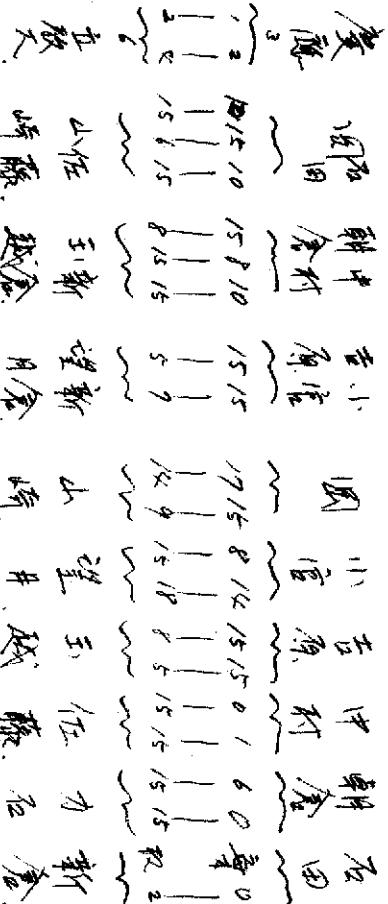
11月8日 (日) 訪慶應。



11月11日 (水) 対韓德國立人



11月14日 (土) 対立教大勝



此の結果、立教大勝 \Rightarrow 連霸成立。成績順位(次の通り)。

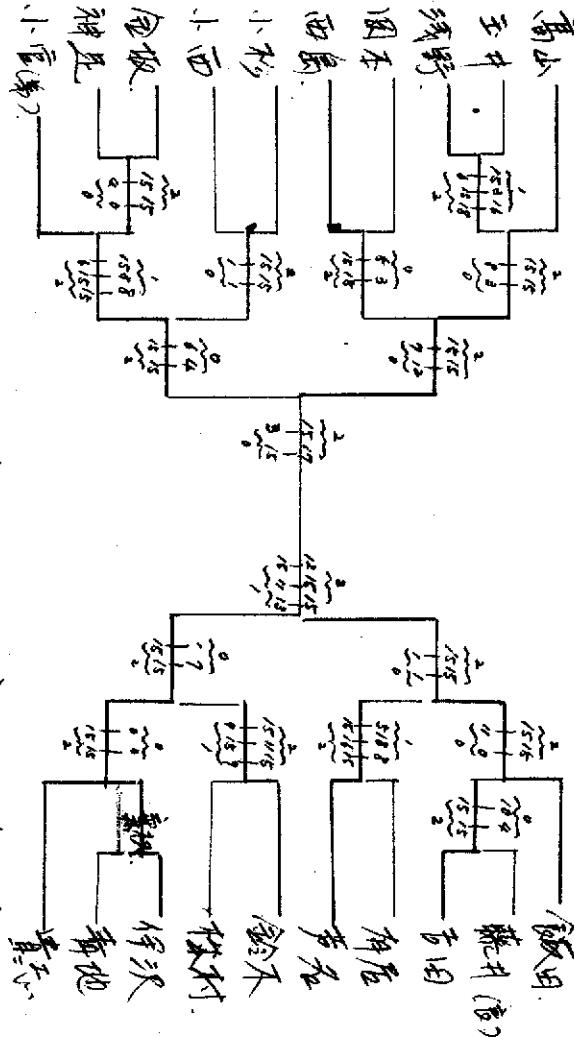
- 1位. 仁政大勝.
- 2位. 明治大勝.
- 3位. 開拓將領大勝.
- 4位. 廣應新富大勝.
- 5位. 洪政大勝.
- 6位. 漢洋國立人勝

今季、一个戰工最悪の成績四位に終りたが、前年廣玉勝の大

原因は、病氣欠場の羅井陽一の抜けた監視事務。当該は、2
北島口稱子(乙女)事務局→T2.

11月10日。

久しく仰仰此をか。乃新入歟林漢活心。承る16日。神奈川
体育館にて行ひ此の身は「久々」正應。当朝か、斯人選拔を行ひ焉
ト一トトニ。乙亥ノ日。記録詳細次の通り。

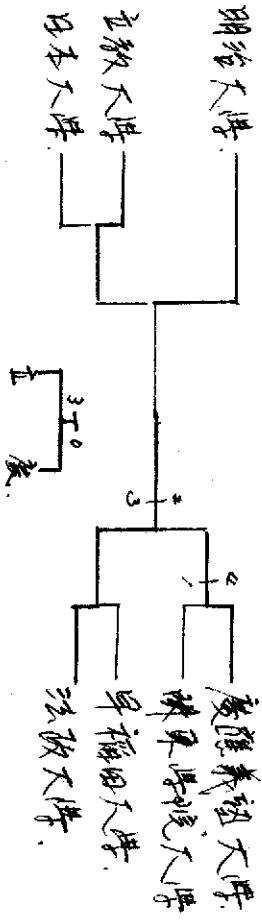


此の結果、新人歎当者成績也。乙、高山、西島、金坂。

1. 高山、飯田、喜多の六名が選ばれた。

11月16日。(月)

神奈川体育館にて。正午十二時一回新人ト一ナメ二十分。
競演。昇龍田、三波、明治、立波、日大、関東学院大学、七校
参加の元12件が提出。審査次第選出。

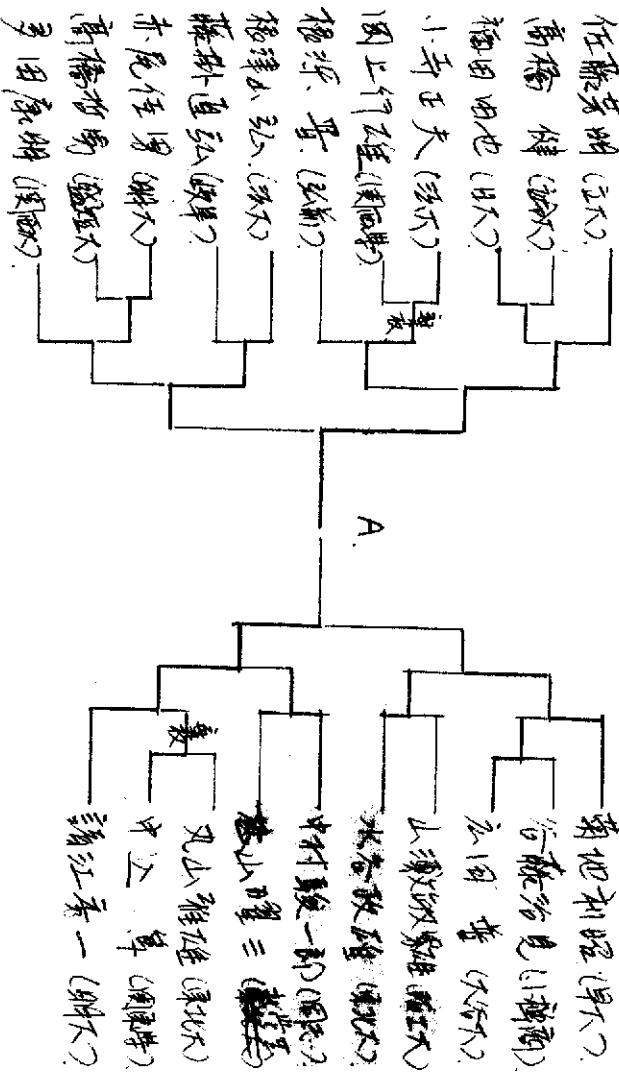


此の結果、当部は新人一回りで四回の成績を取った。

11月21日より24日まで

仙台の東北大学体育館、青葉高校体育館にて競り、林文彦
監督、中田固、全日本学生、第三回全日本大学一二三選
手取大会が開催された。当部より、朝倉主機、内田護主機、
國、小宮(先)、吉原、中村、石田、羽田、城見2名が参加した。
結果は、国体級で三位、個人戦、種目、國・石田組が二位、三位。
吉原・小宮組、等で準優勝の成績を出しと言ふ芳しからの成
績(2回)である。詳細は次の通り。

11月21日、個人戦皆が東北大学体育館、青葉高校体育館にて
競りを行つた。立教大学選手が優勝し、二位(2回)は(佐藤、三位)
10種類の大の形身入り。当部より四位進入したのみ。
成績詳細次に通す。



11) 峰川道久 (脚脚脚)

30

赤丸健次 (法大) ² 裏

下田隆 (北野脚) ¹ 裏

高橋成介 (脚大) ² 裏

丹羽哲郎 (腰脚) ¹ 裏

小飼紫一 (脚脚) ² 裏

上野正 (法大) ¹ 裏

北川式司 (脚脚) ² 裏

山崎進男 (柔心) ¹ 裏

五十嵐国大 (法大) ² 裏

上田金次 (脚脚) ¹ 裏

村木信重 (脚脚) ² 裏

高橋次郎 (腰脚) ¹ 裏

舟澤周二 (柔心) ² 裏

白木清男 (法大) ¹ 裏

伊藤哲郎 (北脚) ² 裏

柳沢寛 (脚脚) ¹ 裏

11) 口高恭 (柔大) ² 裏

加藤清和 (柔脚) ¹ 裏

金木俊三 (脚脚) ² 裏

藤川俊雄 (柔大) ¹ 裏

千房博志 (脚脚) ² 裏

金子直典 (柔心) ¹ 裏

吉原 易 (柔脚) ² 裏

柴山・佐藤剛 (脚) ¹ 裏

朝倉康夫 (柔脚) ² 裏

井田武大 (北野脚) ¹ 裏

佐藤俊一 (柔大) ² 裏

川林貞孝 (柔脚) ¹ 裏

大國秀雄 (脚脚脚) ² 裏

山本益生 (柔脚) ²
赤木昌弘 (柔脚) ¹
中村雅人 (柔脚) ²

御厨 雄 (脚脚) ¹

1.川 昭重 (脚脚) ²

田口 幸雄 (柔大) ¹

風野惟也 (柔大) ²

佐藤光次 (脚脚脚) ¹

近田 稔裕 (柔脚) ²

伊藤 敏 (脚脚脚) ¹

川端英和 (柔脚) ²

奥平 康博 (柔脚) ¹

阿部 弘 (北野脚) ²

萬西英俊 (法大) ¹

丁子 勇 (柔脚) ²

佐藤英雄 (脚大) ¹

酒田鉄朗 (柔脚) ²

横浜義雄 (柔脚) ¹

山崎 茂 (柔大) ²

11) 口高道 (柔大) ²

市川 修 (柔心) ¹

佐藤 純 (柔脚) ²

吉原 易 (脚脚) ¹

佐藤英太郎 (柔大) ²

三上 雅 (柔脚) ¹

三藏 滉三郎 (柔脚脚) ²

大石 韶 (柔脚脚) ¹

柳田 博 (柔脚脚) ²

D.

選道組 (連勝)?

島中卓平 (連大)。

神戸 勇 (連大)。

國本工部 (連大)。

天野 錢一 (連早)。

津久井 明 (連果)。

黄原茂 (連物)。

北村勝男 (五命)。

山部 錦 (連)。

化見達也 (連風)。

余田 一彦 (連丸)。

角田慶輔 (連手)。

張博志 (連丸)。

斎藤 (連)。

小下 信 (連大)。

村上利治 (連环)。

大橋 忠 (連丸)。

望月文雄 (連大)。

折井英男 (連丸)。

柳中卓平 (連大)。

大正正義 (連丸)。

西村勝雄 (連丸)。

川合和彦 (青山)。

藤木亨彌 (連大)。

佐藤辰彦 (連)。

松岡清 (連丸)。

渡辺 駿 (連丸)。

板岡綱吉 (連大)。

柳水 雄 (連大)。

新居裕貴 (連丸)。

川柳武雄 (連丸)。

町田光男 (青山)。

松風 健 (連)。

三毛洋祐 (連丸)。

小田幸久 (連)。

林貞夫 (連丸)。

・宣喜敏 (連早)。

相山潤一 (連大)。

玉城忠治 (連大)。

豊原豊 (連丸)。

細谷豊男 (連大)。

横山誠 (連)。

斎藤烈作 (連丸)。

司馬正次 (連大)。

小田英也 (連丸)。

高橋正輝 (連丸)。

柳本英也 (連丸)。

力石裕男 (連大)。

柳川文男 (連丸)。

・内不率平 (連早)。

南谷芳明 (連丸)。

相川一郎 (連丸)。

E

F

G

正木葉次(御歌)

海上紫太(清山)

今北基大(北大)

地冲中源政(五合)

行田童吉(北大)

牛田喜一郎(圆长)

山階博(山重)

酒井清之助(押野)

植木松雄(南平等)

新角、義成(新)

金木正良(御歌)

山川潤(御歌)

喜崎勝(中下)

中野高造(中下)

遠藤深(北大)

寺口弘男(御歌)

高橋謙(御歌)

吉永一義(中下)

大田裕朗(御歌)

相原洋(御歌)

E. 望月(正)

F. 斯金(正)

G. 高谷(圆)

H. 金木(御歌)

海之次

海勝

海之助

海次

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海之次勝、海勝、海勝、三役次空。

A. 佐藤(正)

B. 川崎(御歌)

C. 上田(御歌)

D. 松田(御歌)

E. 望月(正)

F. 斯金(正)

G. 高谷(圆)

H. 金木(御歌)

I. 海之次

J. 海勝

K. 海之助

L. 海勝

M. 海之助

N. 海勝

O. 海之助

P. 海勝

海之次

海勝

海之助

海次

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海之次

海勝

海之助

海次

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海之次

海勝

海之助

海次

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海之次

海勝

海之助

海次

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海之次

海勝

海之助

海次

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海之次

海勝

海之助

海次

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海之次

海勝

海之助

海次

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海之次

海勝

海之助

海次

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海之次

海勝

海之助

海次

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海之次

海勝

海之助

海次

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海之次

海勝

海之助

海次

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海之次

海勝

海之助

海次

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海之次

海勝

海之助

海次

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海之次

海勝

海之助

海次

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海之次

海勝

海之助

海次

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海之次

海勝

海之助

海次

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海之次

海勝

海之助

海次

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海之次

海勝

海之助

海次

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海之次

海勝

海之助

海次

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海之次

海勝

海之助

海次

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

海之助

海勝

</

石田 (慶應) 10-27 國野 (生大).
吉原 (慶應) 21 不明 10. 鶴原 (源次).

井三用戰

朝倉 (慶應) 11-16 井林 (清少大).
國 (慶應) 11-10 美壽 (清少大).
小室 (慶應) 11-2 繁通 (源次).
吉原 (慶應) 24 不明 10. 斎口 (源次).

井四用戰

朝倉 (慶應) 10 不明 10. 藤川 (法政大).
國 (慶應) 24 不明 10. 金田 (明治大).
小室 (慶應) 10 不明 12 金田 (明治大).
吉原 (慶應) 24 不明 12 金田 (明治大).

井五用戰

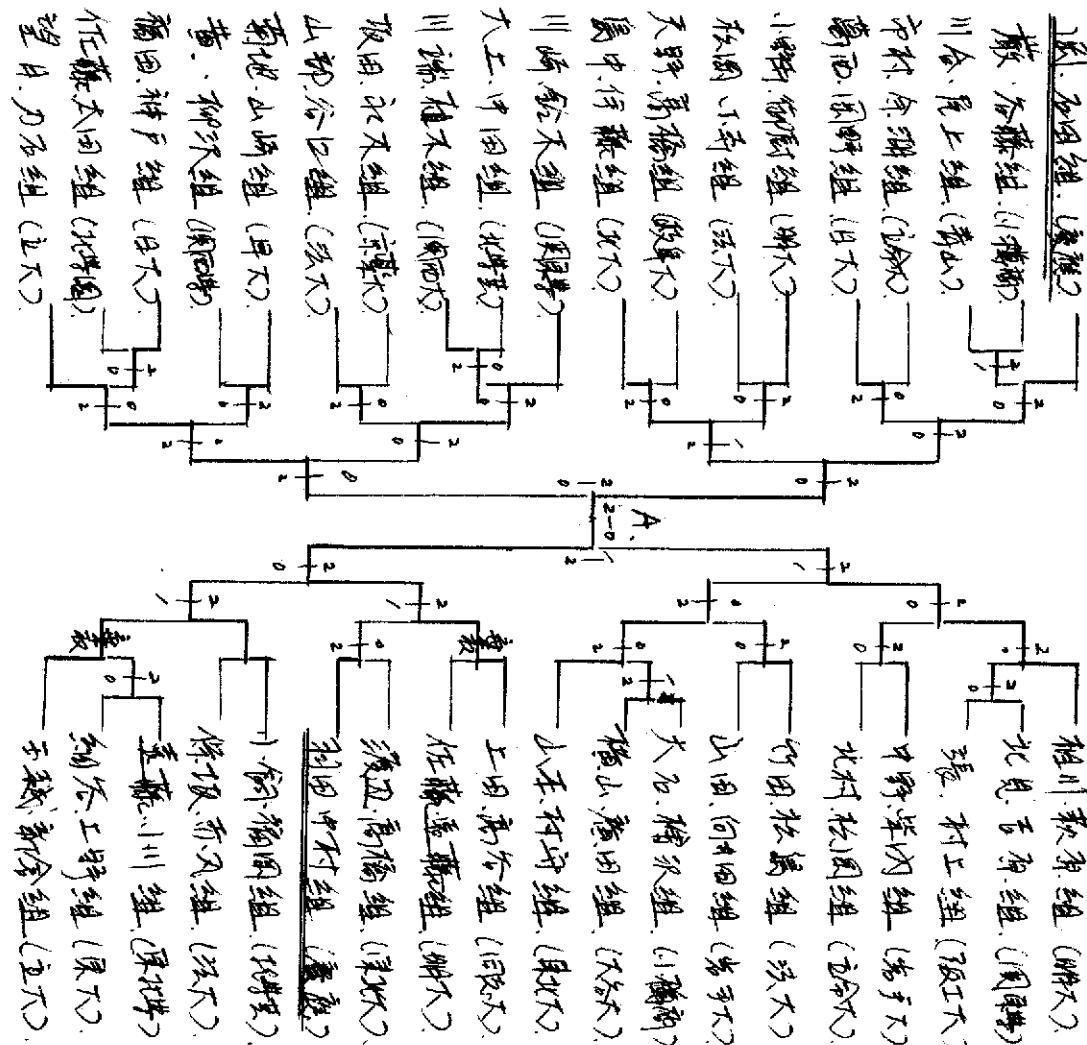
國 (慶應) 20 不明 12 望月 (立教大).

以上、入賞、不賞なし.

11月22日、個人戦複数、卓球大会兼行也況、等下不
成績12組→石原、吉原、鶴原、繁通、吉原、國各四組、三位。
吉原、小室組ヒサ成績、石原、吉原。

記録詳細(次回通)

圖. 石田組 (漢庭)



次第層

- A. 國、石田組 (漢庭)
 - B. 佐藤山崎組 (佐藤)
- A. 上田・高谷組 (同天社)
 - B. 小宮、吉原組 (漢庭)

小夏、青角组(康德)

圆本、北川组(同头) 2

中达、津久井组(同脚) 2

山川山歌组(康德) 2

御野川口组(同大) 0

武田、三毛组(脚面) 2

宝永、伊豆组(过大) 2

柳川高脚组(过大) 2

野坂神原组(脚脚) 2

正木、水谷组(过大) 2

佐藤村次组(脚脚) 2

藤原、内木组(脚脚) 2

佐本、三藏组(脚脚) 2

野泽山脚组(过大) 2

牛田、中村组(脚脚) 2

山下、清川组(过大) 2

針本、村田组(青山) 2

岸本、奥平组(脚脚) 2

神山、平次组(过大) 2

第二周脚

圆、石田组(康德) 15—0 4

羽田、竹村组(康德) 15—12 3

小、夏、青角组(康德) 15—14 1

朝倉、内田组(康德) 10—2 1

第三周脚

圆、石田组(康德) 15—10 7

葛西、柳原组(过大) 7

脚、立脚组(过大) 7

藤木、田口组(过大) 7

猪俣、高桥组(过大) 7

三上、山口组(过大) 7

朝金、内田组(康德) 7

形田、三上组(脚过大) 7

新藤、竹林组(过大) 7

小、山崎、柳原组(康德) 7

酒井、松山组(脚脚) 7

金田、清江组(过大) 7

多田、青江组(脚过大) 7

圆本、小林组(过大) 7

伊势、猪之进组(脚脚) 7

金不、赤尾组(过大) 7

西村、河印组(脚脚) 7

吉野、圆上组(脚脚) 7

猪泽、加藤组(过大) 7

三上、山口组(过大) 7

B

群山、中村組(慶應)、少不群¹² 上田、高谷組(同社)
小倉、吉原組(慶應) 15—3 湘潭-11 口組(岸下)

十四組

國、石田組(慶應) 15—1 小倉、吉原組(慶應) 15—2
小倉、吉原組(慶應) 15—3 湘潭-11 口組(岸下)

十五組

國、石田組(慶應) 15—4 小倉、吉原組(慶應) 15—5
小倉、吉原組(慶應) 15—6 正木水谷組(岸下)

十六組

國、石田組(慶應) 15—7 小倉、吉原組(慶應) 15—8
佐藤山崎組(岸下)

十七組

國、石田組(慶應) 15—9 佐藤山崎組(岸下)

十八組

小倉、吉原組(慶應) 15—10 上田、高谷組(同社)

十九組

小倉、吉原組(慶應) 15—11 上田、高谷組(同社)

11月23日、24日

東北大學中央体育馆¹³、國体組、全國、本大學、八十二二十

二十組

一星月夜大會¹⁴、國體組、慶應¹⁵、第一—十一¹⁶ = 二十一
關西大學 3—2、二十一組、關西學院大學 3—2 胜 T2 DK
華政大學、關西大學 1—3—2 胜此、三後決選組、關西學院大
學也打敗此、二丸正 3—2 胜此、三位乙優勝(T2)。
敗者許連勝(次の通)。

十一月二十四日

薄口吸腸，利尿化大寒。

卷之三

一

10

用石

國石用
角層
瘦
古
風

東坡先生集
卷之三
山村本編
丁酉稿

卷之三

卷之三

卷之三

1

卷二

國語

15

卷之三

卷之三

五

97

卷之三

十一

卷之三

三

— 5 —

2

卷之三

三

P.C.

11月23日 (日)

一、前編圖付。立教新人ビヌヌ新威飛行。瞬間ハ都合乙
ニ用紙行フ在ホ。5-10丁当部の左側的勝利12席シテ。當日
の勝利有付。10割モ打フ右紙等。相手打者飞ナリ切11シテ
國本乙。立教大其ノ三二ト二加士。記念紙不生テ。試合後
立教大其等生ト。一ノ江根箭セラル。三ノ江142n御駒道シテ。

立教大學生會 1350110

十一

又、総理の挨拶にて、海軍の火薬試験を行つた。
（前回の通り）。

11月30日、都議会、衆議院の新幹線深度の件。

12月の総額

2月6日、7日(金)、9日(土)、11日(日)、14日(水)
16日(木)、18日(金)、21日(月)、23日(水)、25日(金) 連休休業
行3.

1月16日.

監督の件12.ついて、三国通信機業推進12.2.奥井先生の
元12幹部会を行ふ。出席者、幹金、内田、横見、三枝、國、
小室、羽田、藤井、高山。

1月23日.

三月12.3月12.の組合
来年度の監督 改選委員会議事と/or. 又助監督、前田金一
化と改定。

2月20日. (土)

来年度の文部省へ其の他の件12.與し、新幹部会開
の事、改選監督会を行ふ。

3月16日. (火)

監督入会12.12.2.新幹業、幹金、内田、横見 二枝
銀武、並木君の選出会を行ふ。司教(?)OB出席者有り)。又
照井伊藤会場事務の件12.奥井先生の幹部会で承り
照井先生の12.からの被選、新幹生入記念品の贈呈。(アムロ)
其後、記念撮影。後度義理應接歌合唱の後散会。

二月23日. 本年度の行事、全部終了。